

2023年5月臨時会（初議会）の特徴、反省点について

2023年6月8日（木）

提出委員：会派・友和（奴間健司）

1 臨時会（初議会）の特徴

- ①市議選後初の議会であった。議長選出をはじめ新たな議会の体制を発足させた。
- ②議案として報告第4号専決処分の報告（交通事故に係る損害賠償）があった。
また第30号議案が提出され同意された。（議会選出監査）

2 臨時会の反省点、課題について

- ①正副議長選挙については、より開かれた選挙となるよう検討が必要と考える。
古賀市議会では、控室で正副議長を志願する議員が所信を表明する機会を設けている。
問題点として所信表明が口頭で行われるためその内容を正確に確認することができない。
今後は文書で提出することが望ましい。
また、この所信表明は議員に対する約束であるとともに市民に対する約束でもある。より開かれた議会とするためにも本会議場で所信を表明する機会を作ることが望ましい。
これらは今期の研究課題と言える。（参考資料を参照してください）
- ②議会報編集常任委員会について申し合わせを改正することとし、3期連続で委員会の所属することを認めた。しかし、無制限とすることには疑問があり、3期目に今後の在り方について当委員会から議長に提案することを条件とした。今回限りの処置とした。
- ③報告第4号の審議方法について（前期中に議案が事前配布され、新たな議会体制のもとで審議することとなったケースにおける議運での取り扱いを明確化する必要がある）
- ④各常任委員会、議運で正副委員長を選出する際の口述書の整理が必要であった。

<参考資料>

①取手市議会の議会基本条例

（議長及び副議長志願者の所信表明）

第13条 議会は、議長及び副議長の選出に当たり、本会議において、それぞれの職を志願する者に対して所信を表明する機会を設けるものとする。

（解説）取手市議会では、議会基本条例に議長志願者の所信表明の機会を設ける規定があります。この所信表明は議会活動の方向性を明確化し、議会の透明性を確保することで、市民にわかりやすい議長の選出を行うものを目的とするものです。

なお、取手市議会のホームページでは議長選挙の各志願者の得票数並びに新議長の就任あいさつを公表しています。

②早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査における設問

（52 設問中の 47 番目の設問）

47.議長選挙にあたって、志願者が所信やマニフェストを表明する機会がありますか？